第６回ＭＤＩＣ検定試験問題
医　療　概　論

一般社団法人日本医療機器学会
2014 年 1 月 12 日
10 時 30 分ー11 時 20 分

受験番号							氏　名						
生年月日（西暦下 2 桁の 6 桁表記）													

注意事項

１．**問題用紙は指示があるまで開かないでください。**

２．問題用紙および解答用紙の所定の箇所に受験番号と氏名と生年月日（西暦下 2 桁と月日を 6 桁で記入する。例えば，1982 年 4 月 13 日の場合，820413 と記載）を記載します。解答用紙の受験番号と生年月日は横書きで記入し，下の同じ番号をマークしてください。

３．問題用紙はすべて回収しますので，持ち帰ることはできません。問題用紙の回収がない場合，不合格となります。

４．問題用紙に落丁または不鮮明な箇所がある場合は，手をあげて監督者に合図してください。試験問題の内容についての質問は一切受け付けません。

５．設問は 40 題で，単純 5 肢択一のマークシート方式です。

６．各問題では，設問に対して適切な解答を解答群の中から選択し，問題文中に書かれた解答記入欄の番号に従って解答用紙の解答記入欄を選び，選択した項目の番号をマークしてください。

７．途中退室は認めません。

８．試験中，体調が悪くなった場合やトイレに行きたくなった場合は，手をあげて監督者の指示に従ってください。試験時間内であれば試験場に戻ることができますが試験時間の延長はありません。

９．不正行為と確認された場合には，退室を命じます。不正行為をした場合には，全受験科目が不合格となります。

【問題１】　わが国の死亡原因（2011 年度）について正しいのはどれか。

１）死亡原因の第 1 位は心疾患である。

２）肺結核は 65 歳以上では第 1 位である。

３）脳血管障害は 50 歳代では第 1 位である。

４）自殺・悪性新生物は 30 歳～40 歳では上位を占める。

５）脳血管障害による死亡が肺炎を上回った。

【問題２】　我が国の人口（2012 年度）について正しいのはどれか。

１）高齢化率（65 歳以上の人口の比）が 4 割を超えた。

２）合計特殊出生率はおよそ 1.3 である。

３）2060 年の人口は 1 億 5000 万人と推計されている。

４）生産年齢人口は増加傾向にある。

５）平均寿命が最も高い県は沖縄県である。

【問題３】　医療格差の**原因でない**のはどれか。

１）高齢化

２）交通の便

３）過疎化

４）収　入

５）性　別

【問題４】　病院における医療職の人材不足の**原因でない**のはどれか。

１）患者数の減少

２）新医師臨床研修制度

３）過酷な労働環境

４）生活環境の地域格差

５）同一資格内での給与格差

【問題５】　健康日本 21（第 1 次）で達成度が悪化しているのはどれか。

１）高血圧の改善

２）食塩摂取量の減少

３）多量に飲酒する人の減少

４）日常生活における歩数の増加

５）80 歳で 20 歯以上を有する人

【問題６】社会保障について正しいのはどれか。

１）憲法 9 条　――――――　生存権の保障

２）憲法 25 条 ――――――　個人の尊厳の保障

３）救 貧 法　――――――　公的扶助の原形

４）産業革命　――――――　社会保険制度の始まり

５）オイルショック　――　少子高齢化

【問題７】　社会保障制度の中で社会福祉に該当するのはどれか。

１）年　金

２）雇用保険

３）生活保護

４）母子手当

５）食品衛生

【問題８】　社会保障給付費（2010 年度：平成 22 年度）について正しいのはどれか。

１）「医療費」は約 32 兆円である。

２）年金は約 25 兆円である。

３）総額は約 150 兆円である。

４）「福祉その他」の費用は減少している。

５）「介護対策費」は前年度より減少している。

【問題９】　社会保障給付費（2009 年度：平成 21 年度）の内訳について正しいのはどれか。

１）公費負担が約 70%である。

２）国庫負担が地方負担より多い。

３）高齢者関係給付費が 30%を占める。

４）社会保障関係費が歳出の 60%を占める。

５）年金・医療費以外の「福祉その他の給付」は欧州諸国より多い。

【問題 10】　医療に携わる者の基本的な考え方（現代版ヒポクラテスの誓い）を述べているのはどれか。

１）ジュネーブ宣言

２）ヘルシンキ宣言

３）リスボン宣言

４）ユネスコ宣言

５）第 3 次改正医療法（1997 年：平成 9 年）

【問題 11】　ヒトゲノム・遺伝子解析に関する倫理指針で正しいのはどれか。

１）個人の情報を開示する。

２）個人の事後承諾が必要である。

３）個人の人権の保障が科学的利益に優先する。

４）研究計画には倫理委員会の承認は不要である。

５）研究の実施に対して国民の理解は不要である。

【問題 12】　医療職の一員としてあるべき姿で**誤り**はどれか。

１）安全な医療への目的意識を共有する。

２）他職種の業務内容を理解する。

３）プロとして適切な知識の維持を心がける。

４）他職種からの指摘を謙虚に受け止める。

５）業務上で知り得た個人情報は病院職員全体で共有する。

【問題 13】　病院規模別病院施設数（2011 年度：平成 23 年度）で前年より増加しているのはどれか。

1）総病院施設数

2）100 床以下の病院施設数

3）100～199 床の病院施設数

4）200～399 床の病院施設数

5）400 床以上の病院施設数

【問題 14】　医療の人的資源で正しいのはどれか。

1）医学部医学科の入学定員数は減少傾向にある。

2）電子カルテ化により医師数を減少できる。

3）病院勤務の薬剤師は充足されている。

4）人的資源は施設間で格差がある。

5）看護師の離職率は医師より低い。

【問題 15】　保険診療で使用できる医療機器を規定している法律はどれか。

1）医師法

2）医療法

3）薬事法

4）薬剤師法

5）健康保険法

【問題 16】　介護保険について正しいのはどれか。

1）被保険者は 3 種類に分けられる。

2）介護保険の保険者は国である。

3）介護保険の財源構成は公費 80%である。

4）要支援は 5 段階である。

5）申請しなければ介護認定は受けられない。

【問題 17】　正しいのはどれか。

1）公的医療保険への加入は任意である。

2）日本の医療保険制度は皆保険制度でない。

3）生活保護者は医療扶助を受ける資格がない。

4）保険証の提示により保険医療を受けることができる。

5）患者の医療費の支払いは保険財政から 100%支払われる。

【問題 18】　正しいのはどれか。

1）保険者はレセプトの審査をしない。

2）診療材料料は基本診療料に含まれる。

3）医療機関は患者から一部負担金を受けとれない。

4）レセプトは審査支払機関に提出しなければならない。

5）入院基本料加算は病院の診療機能に関係なく請求できる。

【問題 19】　クリニカルインジケータの**指標でない**のはどれか。

1）入院費

2）死亡率

3）治癒成績

4）患者満足度

5）合併症の発生率

【問題 20】　病院において損益分岐点を左側にシフトさせる要因はどれか。

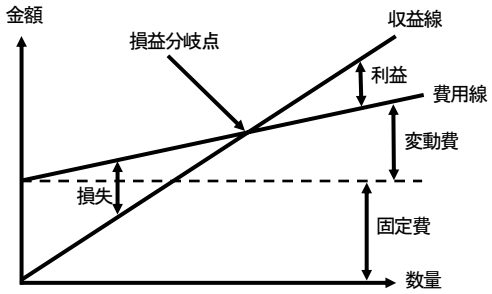
1）患者数の減少

2）人件費の上昇

3）診療単価の上昇

4）固定費の増大

5）変動費の増大



【問題 21】　医療・病院管理で**誤り**はどれか。

1）看護部は中央診療部門に含まれる。

2）臨床工学部門は医療機器の保守点検業務に関わる。

3）医療情報部門は経営企画に関係する。

4）医療安全管理部門は安全文化の醸成に関与する。

5）感染制御部門は院内感染対策に関与する。

【問題 22】　初診時の問診について正しいのはどれか。

１）問診票は不要である。

２）仕事内容の聴取は不要である。

３）既往疾患の情報は不要である。

４）他の診療施設での処方を確認する。

５）患者家族以外からの情報は不要である。

【問題 23】　タイムアウトについて正しいのはどれか。

１）問診時間の制限

２）医療事故防止対策

３）途中での治療方法変更の確認

４）リハビリテーションの制限日数

５）感染症に罹患した際の学校への出席停止日数

【問題 24】　トリアージについて正しいのはどれか。

１）診療所では行われない。

２）専門診療科の診察後に行う。

３）対応の迅速性は必要とされない。

４）病院の日常診療でも考慮される。

５）感染症の場合は医師の診察を待ってから行う。

【問題 25】　クリニカルパスで正しいのはどれか。

1）語源は病院の診察券である。

2）列車運行のダイアグラムを参考にした。

3）提供される医療の質は考慮されない。

4）作成後は診療過程の変更を認めない。

5）医療業務の効率化につながる。

【問題 26】　打診で診るのはどれか。

1）呼吸音

2）心臓の鼓動

3）眼球結膜の色

4）腸管の膨満

5）浮腫の有無

【問題 27】　正しい組合せはどれか。

1）高次脳機能検査の処方箋の作成 ――― 作業療法士

2）診療計画書の作成 ――――――――― 看護師

3）主治医意見書の作成 ――――――――― 患者の家族

4）退院時処方箋の作成 ――――――――― 医師

5）退院証明書の作成 ――――――――― MSW（ﾒﾃﾞｨｶﾙ・ｿｰｼｬﾙ・ﾜｰｶｰ）

【問題 28】　A 病院でアクシデントが 5 件あった。ハインリッヒの法則で算定するとインシデント（ヒヤリ・ハット）は何件発生しているか。

1）　10

2）　15

3）　30

4）　50

5）200

【問題 29】　KYT（危険予知訓練法）の**構成要素でない**のはどれか。

1）現状把握

2）本質追究

3）対策樹立

4）目標設定

5）実践活動

【問題 30】　手術安全のためにおこなわれるブリーフィングについて**誤り**はどれか。

1）患者の確認

2）手術部位のマーキング確認

3）パルスオキシメータの装着の確認

4）アレルギーの有無の確認

5）手術経過についての評価の確認

【問題 31】　医療機器管理について正しいのはどれか。

１）病院外での医療機器の使用は多くなっている。

２）安全を犠牲にしても安価なものを購入すべきである。

３）医療機器の保守のための費用は製造業者が負担する。

４）添付文書に指示された以外の使用法も許可される。

５）診療現場で使用される医療機器は薬事法の管轄ではない。

【問題 32】　医療機器を導入する際の基本要件で正しいのはどれか。

１）購入仕様書は製造販売業者が作成する。

２）安全性は医療材料の安定供給で保証される。

３）病院の施設設備の確認が必要である。

４）保守点検費用は考慮しない。

５）病院建築設計には導入機器は考慮しない。

【問題 33】　EBM (Evidence-Based Medicine)について正しいのはどれか。

１）メタ分析は定性的な分析方法である。

２）コホート研究は後向き研究である。

３）医学論文の結果は批判しない。

４）コホート研究はメタ分析より信頼度が高い。

５）疑問点を具体的に抽出することから始まる。

【問題 34】　病院の医療機器安全管理責任者の資格はどれか。

１）事務局長

２）診療情報管理士

３）医療機器修理業者の技術者

４）他の医療施設の安全管理者を兼務する者

５）指定された国家資格を有する常勤職員（院長を除く）

【問題 35】　医療機器関連業者の医療現場への許される無償の立会いはどれか。

１）医療機器の販売誘引

２）医療従業者の業務を代行

３）治療中の医療機器の直接操作

４）医療機器の安全・適正使用説明

５）医療機器の消耗品の無償提供

【問題 36】　医療機器業界の倫理確保で法的拘束力を有するのはどれか。

１）倫理綱領

２）企業行動憲章

３）医療広告ガイドライン

４）医療機器業プロモーションコード

５）医療機器業公正競争規約

【問題 37】　特定医療機器トラッキング制度の対象となるのはどれか。

１）心臓カテーテル

２）冠動脈ステント

３）下肢用人工血管

４）人工膝関節

５）植込み型心臓ペースメーカ

【問題 38】　医療機器添付文書の作成責任はだれか。

１）受託製造業者

２）製造販売業者

３）賃貸業者

４）販売業者

５）修理業者

【問題 39】　正しいのはどれか。

１）過剰診療は保険診療が可能である。

２）無診療投薬は保険診療が可能である。

３）健康診断は保険診療が可能である。

４）予防接種は保険診療が可能である。

５）保険診療と自費診療との併用は禁止されている。

【問題 40】　MDIC について正しいのはどれか。

1）医薬品安全情報交換を行う。

2）日本医師会の認定資格である。

3）他業種との間での情報交換には役立たない。

4）医療機器のヒヤリ･ハット情報に関与しない。

5）医療機器産業ビジョン2013 で推奨された。